

しょうぼうじ じんたいこ
正法寺の陣太鼓

●所在地／双海町大久保本谷 正法寺 ●所有者／正法寺

桐材をくりぬいた胴どうに牛皮を張った締太鼓しめたいこで、戦場へ持ち運びやすいように軽便に作られている。直径 62cm、長さ 54cm の円筒形で、鼓動が遠くへ響くように作られたものである。

『かみなだそんし上灘村誌』によると、かいへんじょうしゅうどうどうよしかつ海辺城主藤堂良勝が陣太鼓として使ったといわれ、「慶長七年七月十五日」（1602 年）と刻字され、境内のこんげんどう権現堂に保存されている。

